

## 特定漁港漁場整備事業計画書

### 1 目的

#### 目的

##### (1) 地域の特徴

五島南方沖地区は、九州西海域に位置し、対馬暖流に恵まれた良好な漁場で、マアジ・マサバ・マイワシなどが多く漁獲されている。また、前述した3魚種の産卵場になっている海域である。

##### (2) 水産業の沿革と現状

五島南方沖地区では、主にまき網漁業が営まれており、マアジ・マサバ・マイワシなどが漁獲されている。

マアジ・マサバ・マイワシは全国の海面漁業生産量（2023年）の33%を占める重要な魚種であり、五島南方沖が属する対馬暖流域における、2023年のマアジの漁獲量は7万トンと全国のマアジ漁獲量の77%を占めるなどその重要な漁場となっている。

また、漁業法（昭和24年法律第267号）に基づく資源管理基本方針、資源管理協定等により、マアジ・マサバ・マイワシ等の資源管理に努めている。

##### (3) 漁場整備の沿革と役割

沖合域の水産資源の生産力を向上させ、水産物の安定供給の確保を図ることを目的として、国による沖合域の漁場整備を平成19年より実施している。令和7年現在、2地区において湧昇流漁場の整備が完了しており、水産資源の生産力の向上に一定の効果を上げている。今回対象としている本海域は、対馬暖流に恵まれたマアジ・マサバ・マイワシの良好な漁場であり産卵場となっている一方、近年、マアジ・マサバ・マイワシの漁獲量が減少傾向にある中で、これらの水産資源の持続的な利用に繋がる更なる漁場整備の展開が必要である。

##### (4) 当該事業計画の目的

対馬暖流域のマアジ・マサバ・マイワシ資源の維持・増大を促進し、国民への水産物の持続的かつ安定的な供給を確保するため、これらの水産資源の産卵場の一つとなっている五島南方沖地区において国が行う漁場の造成により餌料環境をはじめとする生物の成育環境の創出や資源の増殖を図るものである。

## 2 施行に係る区域及び工事に関する事項

### (1) 区域に関する事項

#### イ 区域名

区域名	五島南方沖地区
-----	---------

#### ロ 事業計画区域

事業計画区域	北緯32度20分東経128度40分の点、北緯32度10分東経128度40分の点、北緯32度10分東経128度30分の点、北緯32度20分東経128度30分の点を順次に結んだ線により囲まれた海域（漁港及び漁場の整備等に関する法律施行令第1条の2第2号に掲げる海域に限る。） (別紙)
--------	---

#### ハ 位置図

位置図	
(別紙)	

#### ニ 当該区域の水産業に係る現況、課題及び整備方針

当該区域の水産業に係る現況、課題及び整備方針
(1) 現状と課題 ① 対馬暖流域のマアジ・マサバ・マイワシの分布と生態 対馬暖流域のマアジ・マサバ・マイワシは、東シナ海南部から日本海の沿岸・沖合域の広域に分布し、五島南方沖周辺は主な産卵場の一つとなっている。(図1～3) また、マアジ・マサバは主としてオキアミ類、アミ類、小型魚類、マイワシは主としてカイアシ類、珪藻類を摂餌する。

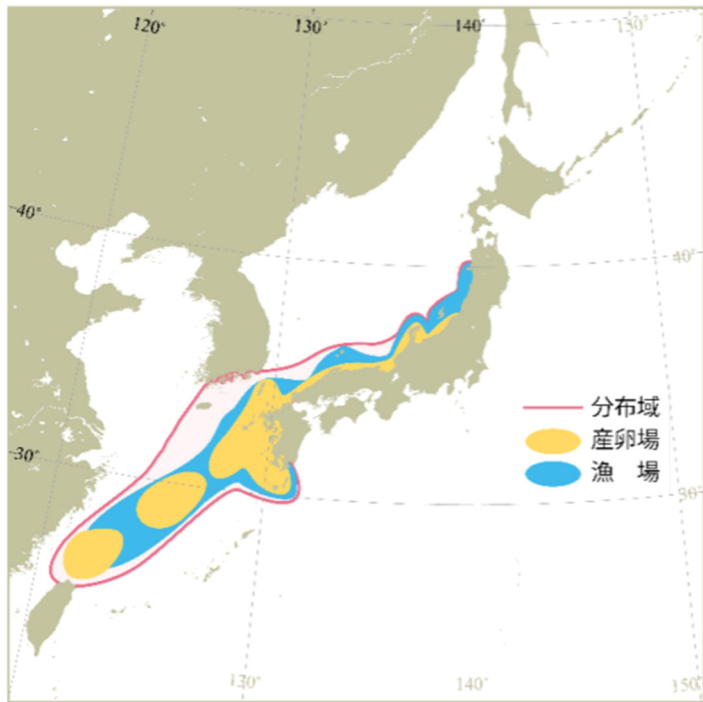


図1 マアジ対馬暖流系群の分布域と産卵場  
 出典：令和6年度マアジ対馬暖流系群の資源評価  
 (国立研究開発法人水産研究・教育機構)

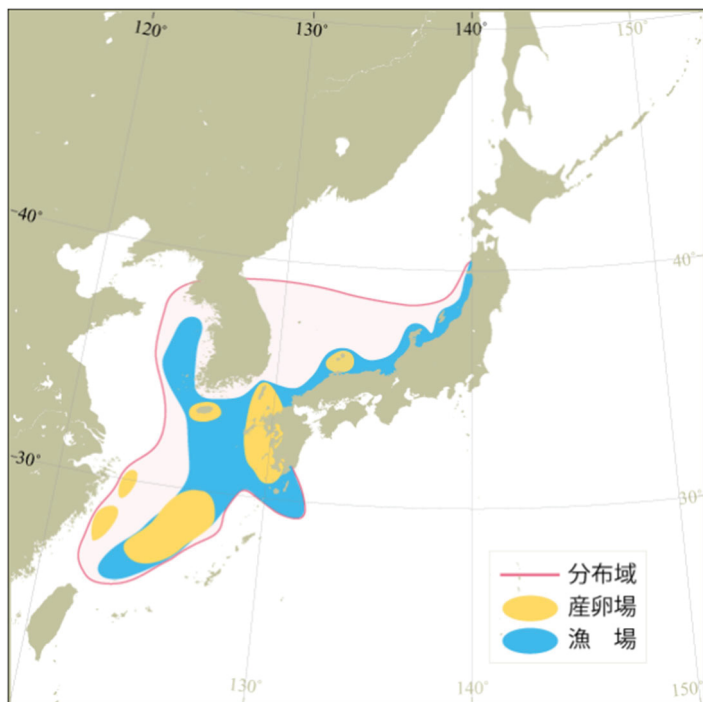


図2 マサバ対馬暖流系群の分布域と産卵場  
 出典：令和6年度マサバ対馬暖流系群の資源評価  
 (国立研究開発法人水産研究・教育機構)

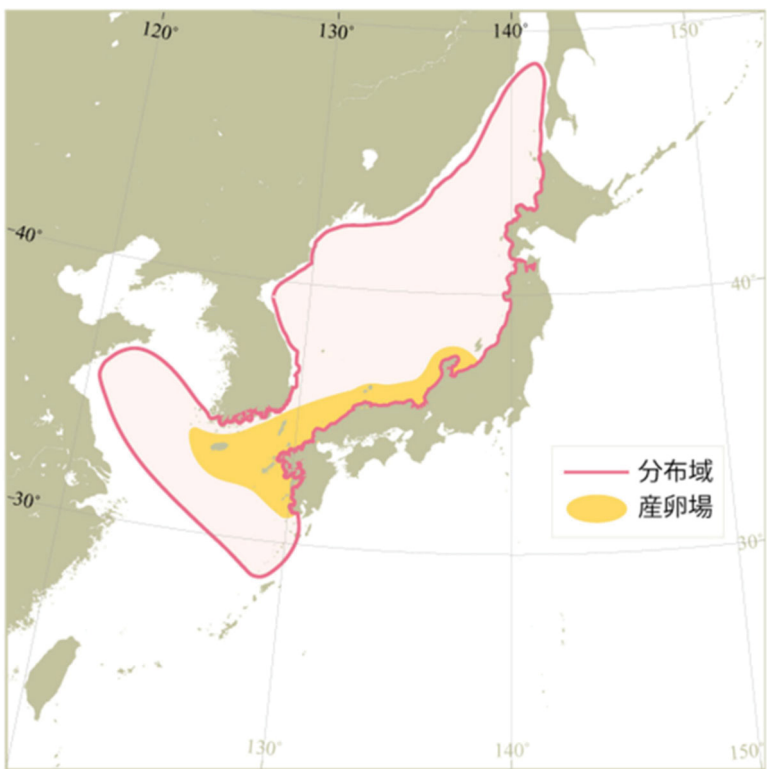
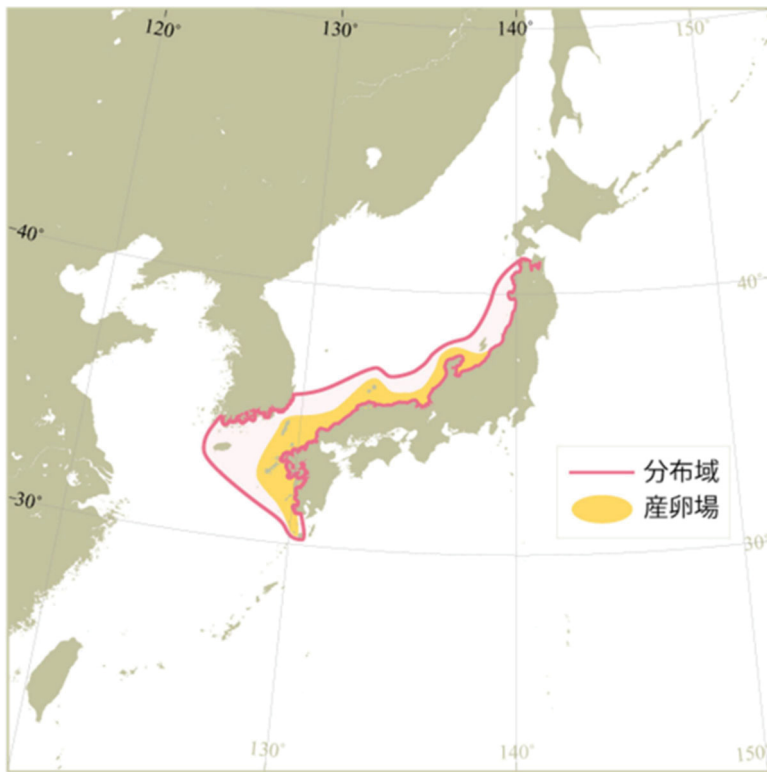


図3 マイワシ対馬暖流系群の分布域と産卵場（上：低水準期、下：高水準期）  
 出典：令和6年度マイワシ対馬暖流系群の資源評価  
 （国立研究開発法人水産研究・教育機構）

## ②漁法と漁獲動向

対馬暖流域のマアジ・マサバ・マイワシについては、その漁獲量の大部分が大中型まき網漁業、中型まき網漁業、小型まき網漁業によって漁獲されている。

マアジの漁獲量は、1993～1998年には20万トン以上を維持していたが、その後減少し、2023年には7万トンとなっている（図4）。マサバの漁獲量は、1993年以降増加し1996年には41万トンに達したが、その後減少し、2023年には10万トンとなっている（図5）。マイワシの漁獲量は、1983年に100万トンを超え、1991年まで100万トン以上の漁獲があったが、その後急激に減少し、2023年は12万トンとなっている（図6）

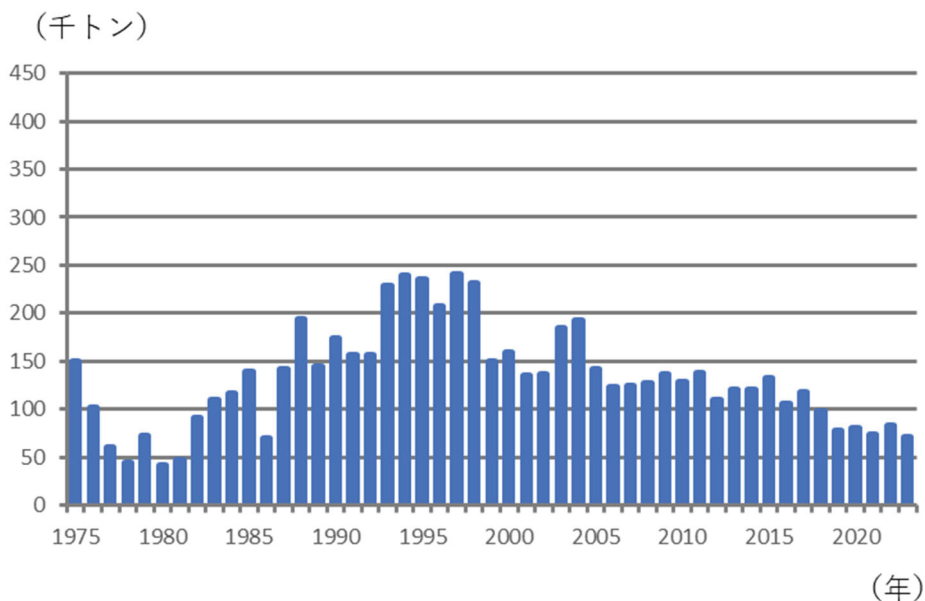


図4 マアジ対馬暖流系群の漁獲量の推移

出典：令和6年度マアジ対馬暖流系群の資源評価  
(国立研究開発法人水産研究・教育機構)

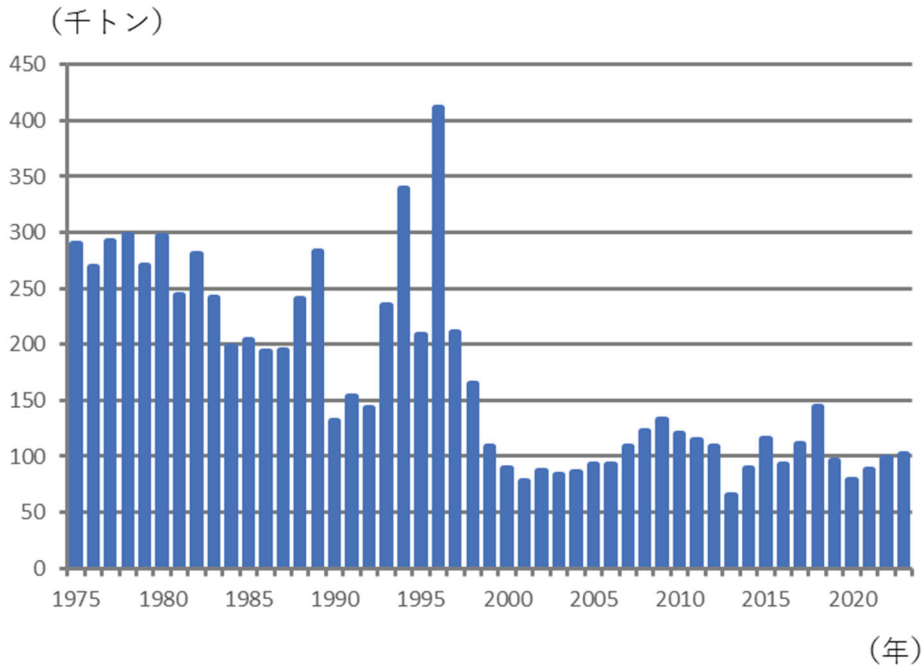


図5 マサバ対馬暖流系群の漁獲量の推移  
 出典：令和6年度マサバ対馬暖流系群の資源評価  
 (国立研究開発法人水産研究・教育機構)

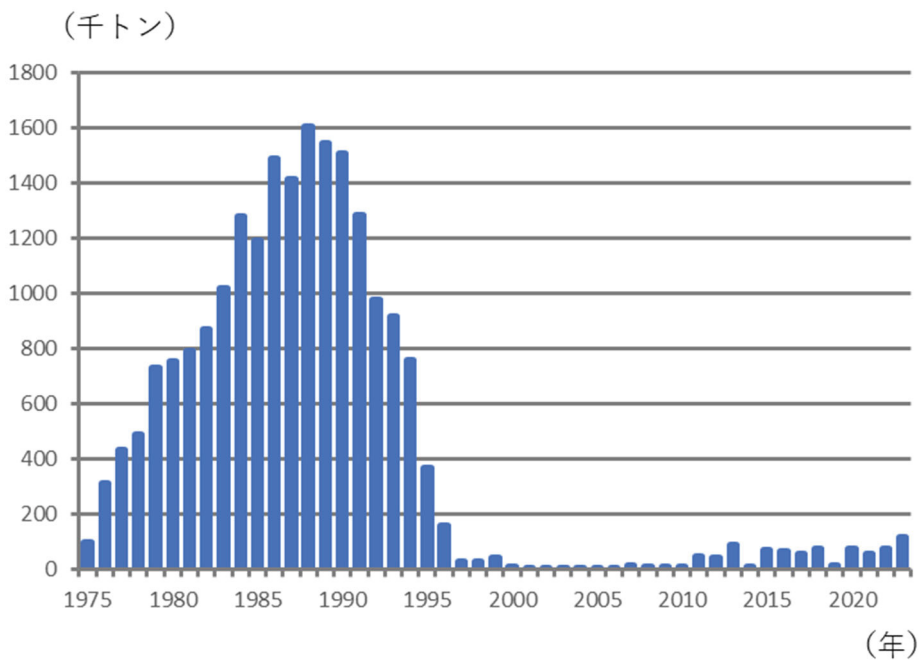


図6 マイワシ対馬暖流系群の漁獲量の推移  
 出典：令和6年度マイワシ対馬暖流系群の資源評価  
 (国立研究開発法人水産研究・教育機構)

### ③課題と増殖の必要性

対馬暖流域のマアジ・マサバ・マイワシの漁獲量は近年減少傾向にあり、将来的な漁業活動の継続や水産物の安定供給に支障が生じかねない状況となっている。

このため、これらの産卵場となっている五島南方沖地区において、湧昇流漁場を整備することで、栄養塩の豊富な底層水を有光層に湧昇させ、餌となるプランクトン類の発生を促し、マアジ等の増殖と増肉を図ることで、これらの水産資源の維持・増大と国民への水産物の持続的かつ安定的な供給の確保等を達成するものである。

#### (2) 整備方針

五島南方沖地区において、海域の基礎生産力（プランクトン）を増大させ、対象生物等の水産資源の増殖を図るため、湧昇流漁場を整備する。

#### ①造成位置

造成位置については、マアジ・マサバ・マイワシの分布状況、各種漁業の操業状況、湧昇流漁場に適した海洋・海底の状況、漁獲量の状況等を踏まえ適地を選定する。

#### ②造成規模

栄養塩の豊富な底層水を有光層に効果的に湧昇させる等の湧昇流漁場としての効果の発現が見込まれる規模とする。

### ホ 整備対象漁場の現況

整備対象 漁場全般	マアジ・マサバ・マイワシを主に漁獲している漁業種類の許可隻数は以下のとおり。 大中小型まき網漁業（大臣許可漁業） 32隻 中型まき網漁業（長崎県知事許可漁業） 64隻 注）令和7年1月1日現在。大中小型まき網漁業の隻数は九州西部海区・東海黄海区の許可隻数。
--------------	---

(2) 工事に関する事項

イ 主要施設の種類、規模及び配置等  
(漁場の施設等)

関係都道府県名	整備対象漁場名	所管	事業主体名		対象生物
長崎県	五島南方沖	本土	国		まあじ、まさば及びまいわし
計画施設等	計画工事種目		単 位	計画数量	備 考
増殖場	湧昇流漁場		ha	2.5	(整備位置) 北緯 32° 12' 東経 128° 38'

ロ 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定年度	令和8年度	完了予定年度	令和17年度
--------	-------	--------	--------

ハ 計画平面図

計画平面図
(別紙)

3 事業費に関する事項

(1) 計画事業費

計画事業費	19,300 (百万円)
-------	--------------

(2) 都道府県の負担割合

計画事業費に対する長崎県の負担の割合は漁港漁場整備法施行令第3条第2項に定める割合を乗じたものとする。

なお、「後進地域の開発に関する公共事業に係る国の負担割合の特例に関する法律」に基づく国の負担割合の引上率については別途考慮するものとする。

#### 4 効果に関する事項

##### 1 主要な水産施策別の事業効果

###### ①水産資源の保護・回復

湧昇流漁場の整備によりプランクトンの増大等の水産資源の生育環境の改善が期待され、マアジ・マサバ・マイワシの資源の増殖等が見込まれる。また、資源管理基本方針、資源管理協定等による資源管理と連携し、資源の保護・回復を図る。

###### ②漁家経営の安定（水産物の安定供給）

湧昇流漁場の整備による水産資源の回復に伴い、漁業生産量の増加が見込まれ、漁業経営の安定化が図られる。また、漁場の探索時間の削減に伴う就労時間の削減により、就労環境の改善、若年齢階層の新規就業意欲の向上につながる。

###### ③水域環境の保全・創造

湧昇効果によるプランクトン等の増大によって持続的に漁場が形成されることで、マアジ・マサバ・マイワシなどの餌料環境をはじめとする成育環境の創出が期待される。

###### ④安全・安心な水産物提供

湧昇流漁場の整備による水産資源の維持・増大に伴う水揚げの安定化により、消費者への水産物の安定提供が見込まれる。

###### ⑤漁業の生産性向上

湧昇流漁場の整備による水産資源の回復に伴い、漁業生産量の大幅な増加が見込まれる。

###### ⑥水産物流通に与える効果

湧昇流漁場の整備による水産資源の回復に伴う漁業生産量の増加により、流通量・加工生産量の増加、販売力強化等の取組の促進が見込まれ、水産物流通の活性化が期待される。

###### ⑦地域経済に与える効果

漁業生産量の増加に伴い、水産加工量の増加が見込まれ、水産加工にかかる民間の新規投資の誘発が期待される。また、生鮮や加工製品等の地域産物の安定供給による消費者への積極的な提供等が見込まれ、産直の拡大等により都市との交流の促進が期待される。

##### 2 地域に与える影響

水産資源の回復に伴う陸揚量の増加により、流通量・加工生産量の増加、販売力強化等の取組の促進が見込まれるなど、関連産業への経済波及効果は極めて大きく、地域経済の活性化が期待される。

3 費用対効果分析結果			
社会的割引率	4%	投資期間	令和8年～令和17年
現在価値化の基準年度	令和7年	施設の耐用年数	30年
貨幣化による分析結果			
貨幣化した効果項目	漁獲可能資源の維持・培養効果 漁業外産業への効果		
総便益額B	22,441百万円		
総費用額C	13,888百万円		
費用便益比率(B/C)	1.62		
参考	純現在価値：(B-C)	8,553百万円	
	内部収益率：(IRR)	7.2%	
4 事業の定量的・定性的効果（貨幣化が困難な効果）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産資源の維持増大に伴う漁業経営の安定化</li> <li>・新規参入意欲の向上と乗組員等の担い手の確保</li> <li>・水産関連資材を扱う関連産業への経済波及効果</li> <li>・水産資源を核とした交流人口の増加に伴う新たな産業の創出</li> <li>・漁業労働時間・漁業経費の削減効果</li> <li>・餌料卸売業の生産量の増加</li> </ul>			

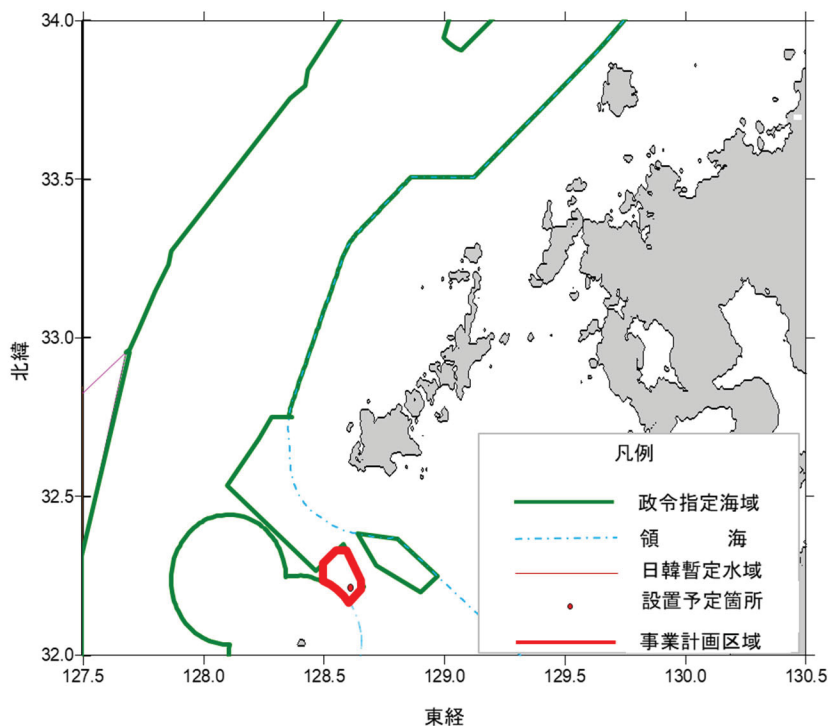
### 5 環境との調和に関する事項

環境との調和に関する事項
<p>①当該地区周辺の自然環境の現状</p> <p>当該海域は、対馬暖流に恵まれたマアジ・マサバ・マイワシなどの良好な漁場であるとともに、産卵場となっている海域である。しかしながら、近年、マアジ・マサバ・マイワシの漁獲量は減少傾向である。</p> <p>②当該事業が及ぼす周辺環境への影響の程度</p> <p>プランクトンの増殖等を図る湧昇流漁場を整備することにより、整備箇所周辺の広い水域にわたり、餌料環境をはじめとする生物の成育環境の創出や資源の維持・増大が期待される。</p> <p>③環境との調和に関して、当該事業で実施する具体的な内容</p> <p>マアジ・マサバ・マイワシなどの餌料環境をはじめとする成育環境の創出に資する構造・配置について検討し、施設整備を行う。</p>

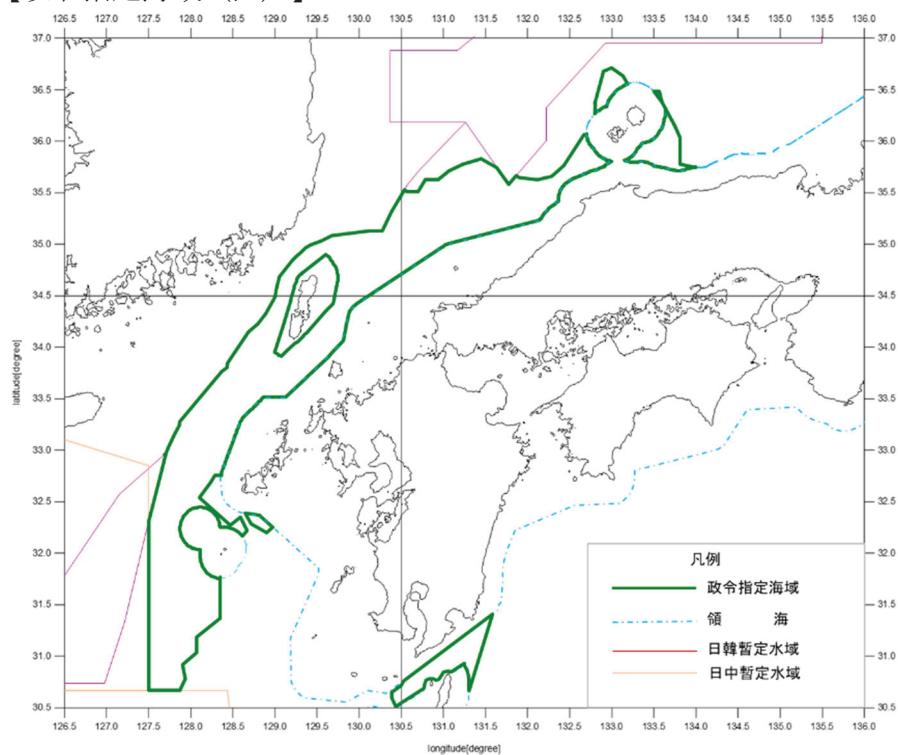
6 他の水産業に関する施設との関係に関する事項

施設名	施設規模・内容	本事業との関係	備考
長崎漁港 係留施設  漁獲物処理施設	- 6m 岸壁(B):東岸壁 L=70m (上屋)  配送用作業施設 1式	マアジ等の陸揚漁港の 施設  マアジ等の鮮度保持	R6年~R15年  〃
長崎漁港 係留施設  漁獲物処理施設	- 6m岸壁(C):西岸壁 L=290m (改良:耐震化・上屋) - 4m 岸壁(A):西岸壁 L=220m (改良:耐震化・上屋) - 6m 岸壁(B):東岸壁 L=420m (改良:耐震化・上屋) 浮棧橋(改良) N=2基 荷さばき所(改良) N=2棟	マアジ等の陸揚漁港の 施設  マアジ等の鮮度保持	事業実施主体 長崎県 整備済
長崎県地方卸売 市場長崎市場	敷地 A= 221,482m <sup>2</sup> 卸売場 西棟 A= 13,489m <sup>2</sup> 東棟 A= 12,075m <sup>2</sup>	マアジ等の陸揚漁港 (長崎漁港)の施設	事業実施主体 長崎県 整備済
佐世保市地方卸売 市場水産市場	敷地 A= 82,941m <sup>2</sup> 卸売場 A= 11,491m <sup>2</sup>	マアジ等の陸揚漁港 (相浦港)の施設	事業実施主体 佐世保市 整備済
松浦市地方卸売 市場水産市場	市場面積 A= 43,352m <sup>2</sup> 積込面積 A= 6,782m <sup>2</sup> 加工団地 A= 81,529m <sup>2</sup>	マアジ等の陸揚漁港 (調川港)の施設	事業実施主体 長崎県・松浦市 整備済

位置図・計画平面図



【政令指定海域 (注)】



注) 漁港及び漁場の整備等に関する法律施行令第1条の2第2号に掲げる海域